

令和4年12月期月次景況調査結果

この調査結果は、地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

3年ぶりに行動制限のない年末を迎え、コロナ前には戻らないまでも、総じて需要は回復傾向にあるが、原材料費等の高騰が長期化し価格転嫁が追いつかず、製造業・非製造業を問わず、あらゆる業種の収益を圧迫している。

とりわけ、電気料金の大幅な値上げが経営に大きな負担となっているとの声が多く、こうしたことから12月期の景況DI値はやや悪化した。

景況好転の感触はあるものの、人手不足やコロナ感染状況・物価高騰に対する不透明感から、先行き懸念が続いている。

山口県の主要指標 DI 値（令和4年12月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況	(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)
売上高	(< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)
収益状況	(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、好転：3.8% 悪化：36.3% DI 値：▲32.5% ポイント
	前年同月比は、増加：20.0% 減少：30.0% DI 値：▲10.0% ポイント
	前年同月比は、好転：8.8% 悪化：41.3% DI 値：▲32.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和4年12月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
-------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲37.5	▲50.0	▲100.0	▲50.0	▲50.0	0.0	0.0	▲34.4
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
▲40.0	▲75.0	▲40.0	0.0	▲36.4	0.0	▲100.0	▲31.2
							

全 体
▲32.5


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	イチゴ、卵などの原材料が前年より大きく値上りし、クリスマスケーキを前年比平均 10%前後の値上げをした組合員が大半である。餅については山口県産を組合で契約栽培していることから、本年度は価格を据え置いた組合員が多い。しかし、燃料費と包装資材の負担は大きく値上げのタイミングを見計らっている。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	原材料の値上げが続いており、電気料金が令和 5 年 4 月より令和 3 年に比べ 1.6 倍になる見通しである。	パン・菓子製造業 下関市
	水産加工原材料の水揚げが激減している。漁業従事者の減少、水産加工業者の後継者不足が深刻である。日本食の良さをPRする必要がある。	水産食料品製造業 長門市
	コロナ禍での業況だが、冬季が繁忙期の企業が多いため、忙しくなっている模様。入国制限が緩和され外国人技能実習生の入国が始まり生産量等の回復は見込めるが、最低賃金の大幅な引き上げがどう収益に影響するか注視している。全国旅行支援等の影響か、昨年より商品の動きは良い模様。ただ、また新型コロナウイルスの感染者が増加し、更にインフルエンザも流行している模様であるので、これが売上にどう影響するか注視している。	水産食料品製造業 下関市
	少しずつではあるが、景気の歯車が回りだしているような気がする。ただ、『値上げ』の言葉に慣れすぎて動じなくなっているのが怖い。わずかな値上げ幅でも蓄積されるようになると影響は大きい。上手に節約し、絞めるところは絞めて月々少しでも利益を確保していきたい。	食料品製造業
	コロナの感染拡大も続いているが、飲食店等もほぼ通常営業となり、売上の減少は軽微なものとなった。原油価格の大幅な上昇とロシアのウクライナ侵攻による原料不足等による肥料、燃料など各種コストの増加傾向により、製造原価が上昇し、事業活動がさらに苦しい状況となっている。各種の値上げが続いているが、取引先によっては、いまだに値下げを要求するところもあり、お米の取引価格も、低迷を続けているので、農業者には、原価割れの状況が続いている。ロシアがウクライナに侵攻し、10ヶ月が経過したが、全く終息する気配も無く、原油、天然ガス等の資源不足が懸念されている。ウクライナは世界有数の穀倉地帯でもあるので、食料不足に伴う穀物価格も上昇している。政府の、原油価格の上昇に伴う損失補填も限界にきているようだが、更なる対策費の上乗せと食料安全保障対策を早急に図るなどの措置が必要となってくる。おって、北朝鮮、中国などの情勢を注視しながら、迅速に対応することが必要となる。電力不足が不安視されているが、電力の安定供給は、社会の安定に必要不可欠であるので、安全性が確認された原子力発電を積極的に活用するなど、脱炭素社会の実現にむけた努力を進めて	精穀・製粉業

	いってほしい。	
繊維工業	人材不足である。	外衣・シャツ製造業
木材・木製品	組合としての活動は皆無。基地の町岩国の特性であるが、1月から防音工事が開始されるので、少しは木材の需要が出てくると思われる。	製材業・木製品製造業 岩国市
	当組合のコロナウイルスによる影響が出始めた時期は令和2年4月以降である。組合員の平均売上額は、コロナ前の令和元年12月に比べ20%の減少、コロナ禍の令和3年12月と比べ10%の減少だが、増加傾向の事業所と依然減少が続く事業所とが混在している。需要は減少傾向。価格変動が激しく高値で仕入れた木材の値崩れに不安がある。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	相変わらず工場は閑散とし、機械が動いていない。	印刷業 山口市
	新型コロナウイルスの感染症法上の分類変更等の対応が議論される中、年末年始の人流増加に伴う感染の再拡大も懸念されているが、様々なイベント等も3年ぶりに開催され、経済面での持ち直しや効果が期待されている。国民生活においては、食料品や消費物品の物価上昇に歯止めがかからず、実質賃金は減少しているという状況が続いている。印刷業界も、原材料等の上昇に伴う企業収益の悪化は続いており、法人税等の見直しによる増税政策が実施されれば更なるダメージとなる。日銀の金融緩和策の是正発表により円安は一段落したものの、現時点で利上げ政策などが実施された場合は中小企業への影響は計り知れないと危惧している。	印刷業 下関市
窯業・土石製品	セメント等原材料の値上げにより、令和5年1月から製品の値上げを実施するが、まだまだ原材料の値上げ傾向は続く模様。	コンクリート製品製造業 防府市
	公共工事の発注が徐々にUPしてきたが、前年比30%程度減の状況に加え、セメント・電気・運賃等々の値上がりが続いており、今年度での業績回復は、ほぼ不可能だと感じている。5ヶ月前より継続している運賃、鋼材の値上げは徐々に実績が上がってきているが、更なる仕入高騰の波が来ており憤りを感じている。引き続き値上げの説明を継続して行うよう組合内で申し合わせをしている。	コンクリート製品製造業 柳井市
	出荷量は、前月比99%、前年同月比95%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。	生コンクリート製造業
	墓石の撤去・処分が最近特に多くなってきたが、撤去中、知らずにお参りに来られた例があった。身内の方には事前に知らせていただく必要がある。	石工品製造業
	12月の売上高は、小売・卸売ともに前年と変わらない状況。年末年始、城下町の空店舗や閉めている店舗の多さに、観光客から心配の声が上がっていた。	陶磁器・同関連 製品製造業

一般機器	<p>例年、年末から2月は閑散期であるが、極端に忙しいや仕事がなく困っている組合員企業は無く、何とか乗り越えている状況。この閑散期を乗り越えれば、年度末、年度初めに、それなりの予定が入っている模様である。</p>	一般機械器具製造業 下松市
	<p>大手顧客からの素材提供が遅延する事が多いが、書類上で「下請け業者の遅延のせい」に見えることが多い。令和5年夏までは、納期厳守の綱渡り状態が続くそうである。韓国の方が「安く良く納期が守られる」と日本の業者は負け気味である。台湾、東南アジア、中国からの引き合いはまだ無い。鉄の値段は1年前より3割～4割上がった模様。値上げについては、トヨタに競り勝った「日本製鉄」を見習いたいが、隔世の感がある。購入品が絡む製品価格は購入時の価格で決めるが、見積もり時には価格が明確で無いため、得意先との価格調整には苦労をしている。その他の製品については材料費の値上げは受け入れてもらっているが、電気料金やガス料金の値上りを価格に反映するのは困難である。得意先の景気は濃淡が見受けられるが、引き合いはまだ多い。毎年の親会社の定期修理工事が完了し、他の工事現場も令和4年内に完了予定。統合のため令和4年で元請けがなくなる。下請けであったので資金繰りも調整出来たのだが、令和5年からは下請けから元請けになり支払も4ヶ月後になるので資金面で不安がある。元請けとしての工事体制も一から整えなければならないので大変な年になりそう。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>世界的にコロナと経済との共存政策が進展することにより業況は回復基調にある。サプライチェーンの国内回帰もあり安定してきた。但し、当面、中国のゼロコロナ政策による混乱が世界経済に与える影響を注視する必要がある。円安については若干落ち着きを見せてはいるが、ロシアのウクライナ侵攻に伴う資源高、資源不足と関連して電気、ガス料金に留まらず、物価高騰の影響が大きく、生活のみならず、下請け中心の中小企業にとっては大きな経営負担となって来ている。外国人の人材確保面では、ほぼ順調に動きだしているが、日本の低賃金、急激な円安の影響は大きく、欧米、カナダ、台湾、韓国との人材確保競争は厳しいものがあり日本は脱落気味である。国内での競合も激しく都会の高賃金に対抗できず募集しても人が集まりにくい状況が続いている。</p> <p>原材料費や光熱費の高騰がどこまで続くのかの不安要素があり、大きな変化は見られない。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	<p>鉄道車両関係は順調に推移している。今後2年間は同程度での推移と思われるが、令和7年（2025年）以降の見通しは不明。半導体製造装置の部品製造において、やや陰りが見え始めており、今後の受注動向を注視したい。従業員確保及び技能継承には苦労している。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>倉庫売上は昨年及びコロナ前と比べ同等であり変化はない。電気料金がさらに高騰し続け、現在約1.8倍となっており、利益が大幅に減少しているた</p>	乾物卸売業

	め2月より保管料の値上げを予定している。	
	原材料の価格高騰の影響を少なからず受けている。	各種商品卸売業 防府市
	コロナ禍の状況の中、規制緩和で人出が多くなり、売上が増加に転じている。	各種商品卸売業 山口市
	取引メーカー、海外調達品の価格上昇、入荷変動に左右されがちである。	各種商品卸売業 下関市
小売業	インショップではデベロッパーの抽選会やポイント還元などで集客があったようだが、平日の売上が不調で前年比マイナスの店舗が多かったようである。コロナの第8波で期待はできない。路面店は前年同等または減少の様相。新年早々にリップやアイカラーなどの色物の新色が出るので、どれだけ予約活動を行っているかが売上げアップに比例してくると思われる。	化粧品小売業
	年末商戦でエアコン、冷蔵庫等の買替えがあり、前年より少し売上UPしたものの、全体的な業況は悪化の傾向である。売上の前年比は100%位である。	機械器具小売業
	12月の売上は前年同月比約35.6%の減少。令和4年9月末に施設(土地)売却による一部事業の廃止となったため10月より主な売上科目である駐車場・ホール貸出の売上がなくなり大幅減となった。駐車サービス券の売上のみである。	各種商品小売業 周南市
	12/24時点の売上は6%減。第3週、第4週ともに週末の積雪によって客足が減少し、売上に影響した。第5週目は好天に恵まれ年末の帰省客も見込めるので、やや持ち直す見込み。一方で資源・原材料価格高騰による収益圧迫が長期化しており、経営状態は依然厳しい。	各種商品小売業 萩市
	12月の供給高、前年比103.6%、来店者数98.1%。「食料危機が訪れる」と言われている方が、家族3年分の食品を備蓄している模様で、今回は1年分の購入をされたので、供給量と売上が伸びている。店舗ワーカーを募集しているが応募がない。令和5年2月より、日曜日を店休日にすることにした。	各種商品小売業 下関市
商店街	業種業態によってバラつきはあるものの、総じて売上は増加傾向。一方で原価を始めとする経費の高騰による打撃はかなり大きい。最終小売り業者の場合、仕入れ値の値上げには応じるしか選択肢がなく、それも急激かつ広範な価格上昇はオイルショック並の衝撃。この市況にあってコロナ関連の休業や欠勤、あるいは予約キャンセルなどが起き、イレギュラーな流れは厳しい。	岩国市
	人流は平年通りのように思われるが、コロナの状況に不安感の漂う年末になった。	宇部市
	2店舗が閉店し、商店街の年末商戦は何処へという状況だが、プレミアム商品券のおかげで気持ちだけは潤っている。生鮮食料品店は多少動きがあるが、他の店では人の出入りが少ない。「商品の値段は上がったが給料は変わらず、買いたい物も思う	萩市

	ように買えない。」と客が話すので、この状況に商品が売ることが出来ない。	
	11月に販売したプレミアム商品券がほとんど回収され、販促にも繋がりに、顧客も喜んでいと確信している。クリスマス寒波により客足は少々遠のいているが、年末に向けて頑張っていきたい。	下関市
サービス業	行動制限も無くなり、平年通りの動向であるが、新型コロナウイルス罹患者の増加とともに濃厚接触者が増加し、キャンセルも増加する傾向がある。	美容業
	コロナ禍や物価高など先行き不透明な状況が続く中、寒さも加わり来店サイクルが長くなっている。	理容業
	自動車の車検整備については、コロナ禍にあっても社会的に業務を継続することが求められたことから、コロナ禍の3年間は車検台数に影響を受けることなく業務が行われ、新車販売が大きく落ち込む中で整備工場の経営を支えてきたところがある。	自動車整備業
	会費の値上げで売上高は少し上がったが、電力の値上率が異常で会費の値上げをしても追いつかない。	スポーツ・健康教授業
	相変わらず厳しい状況が続く。県外では同業者の倒産を聞くことも少なくない。今後山口県内でも同じ状況が起こることが懸念される。コロナ禍で消費者の生活スタイルや価値観も大きく変わり、それに合わせて業界も変化する必要がある。	普通洗濯業
	12月の中旬から、若干コロナを気にするお客が出てきた。また Xmas や年末が週末と重なったため、ラウンジとしては来店が減った模様。	飲食業
	売上、宿泊人員とも県民割等の施策により前年同月比で大幅増加した。コロナ前の2019年1月と比較すると、売上101.5%、宿泊人員129.8%でほぼ回復している。全国割プラスも12/27分の宿泊まで延長されたことも一因と考察される。	旅館業 山口市
	入浴施設の利用は5%の減。売上高は前年比15%減。期待していた観光キャンペーン等についても利用が少なく厳しい状況。原油価格及び電気代高騰等については引き続き厳しい。今後の経営に大きく影響する。	旅館業 長門市
12月は、コロナ前の稼働率には届かないが、稼働率も高く繁忙であった。全国旅行支援の利用者も50%~70%程度あった。	旅館業 下関市	
建設業	中電への工事申請127件(当支部122件)、前年同月121件(同104件)。太陽光発電への申請22件(前年19件)、オール電化申請61件(前年72件)。LED街路灯への切り替え・新設申請20件(前年32件)であった。	電気工事業
	好転の感触はあるものの、予想した程の回復ではない。直備技能者を増やしたいが入職希望者が少ないこと及び給与に伴う負担の大きさに遮られている。	左官工事業

	<p>官公需の入札はほとんど終了しており 12 月の入札は無かった。年度初め受注分の仕事をしており、天候も悪くなかったので仕事ははかどっているが、全般的に仕事量は少ない。令和 4 年中にあちらこちらで整地が見られた民需住宅関連の仕事に期待をしている。業界の従業員の高齢化と人材不足は相変わらず解消できていない。</p>	管工事業
	<p>電力会社が軒並み大幅な値上げを発表したが、原油価格の上昇、円安がその要因である。中国電力の値上げ幅は約 3 割で、これが経済的にどのように影響するのか不安である。公共工事の受注は対前年比、件数は 6 割、金額ベースでは 5 割にとどまり、大きな落ち込みがある。年度内の回復は困難と予想される。</p>	一般土木工事業 柳井市
	<p>12 月の受注高は、対前年同月比 29.3%。今年度の累計では、対前年比 79.6%。</p>	一般土木工事業 萩市
	<p>燃料費、生コンクリート、アスファルト、鋼材、木材等の建設資材単価が高騰しており、収益への影響が心配される。</p>	一般土木工事業 長門市
	<p>各社、忙しい様子だが、材料、副資材、運搬費、ガス・電気等すべての価格が上がっているためコスト面がアップし、利益率が低下。高騰分を工場加工費に転嫁できていない。</p>	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	<p>輸送関係は年末にかけて、中近距離輸送がやや上向き傾向となり、対前年同月比約 1 割強の増加。中小運送業者にとって、ドライバー不足が一層大きな重荷になっている。燃料関係は前月より僅かではあるが、値下りとなった。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>自動車関連の組合輸送取扱高は前年並みとなった。しかしながら、依然として半導体他の部品調達難が続いており、コロナ前の水準には遠く及ばない状況である。燃料費については幾分落ち着きを見せており、前年比横ばいだが、前々年比では 43%の値上がりである。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>軽油をはじめ、物価の高騰が収益に影響を及ぼしている。輸送・倉庫保管ともに荷動きはそこそこある。特に倉庫保管案件は増え続けている。人員に関しては応募者が増える傾向がある 12 月でしっかり採用していきたいと考えている。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比+3.6%（令和 4 年 11 月 1 日～令和 4 年 12 月 20 日分）だった。11 月 1 日～30 日分は+4.0%、12 月 1 日～20 日分は+3.0。前々年度比では、それぞれ +27.1%、+14.4%、+48.8% になった。前々年度はコロナの影響で大幅減少、前年度 11～12 月はやや回復だったが、コロナ禍以前までは、まだまだ回復していない。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市、光市、下松市、防府市の地域。11 月分については、周南+1.2%、下松+22.4%、光+21.5%、防府市地区が+10.5%で、組合員の全域では+7.6%、地区外（員外）▲21.2%、合計+4.0%（+544 千円）だった。主要燃料である LPG については、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CP は上昇した。（前月 585\$/トンが今月 630\$/トン、前年 790.0\$/ト</p>	一般乗用旅客 自動車運送業

	<p>ン)、フレート(輸送)コストも増加(前月 11,400 円/トンが今月 12,900 円/トン)した。為替が円高(前月 148.19 円/\$ が 143.48 円/\$)だったが、燃料単価は前月より+3.3%上がった。前年も高騰していたので前年 12 月比は+1.1%。タクシー乗務員は労働条件が厳しい(賃金が少ない)事もあって慢性的に不足している。高齢乗務員が退職し、その補充ができない状況。ウイズコロナで規制が緩くなって、需要が回復傾向にあるが、まだコロナ前(令和元年度以前)の需要の▲41%付近であり、諸物価、経費が増加する中、たいへん厳しい経営状況の様相。運賃改定の動きがあるが、山口県内は認可がもう少し遅れそうである。</p>	
	<p>12月の取扱高は対前年比減少である。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他</p>	<p>大きな変化はなく、組合としても動きはない状況。セミナーを開催したが、その後の問い合わせも変わらず、技能実習生の受け入れに関しては膠着状態である。社会では技能実習制度自体の廃止の話も出ており、その事も一因となって受入れに消極的な環境を作り出しているのではないかと思われる。今後、技能実習制度の廃止や特定技能との統合等、結果が出れば動き出していくと推測している。</p>	<p>介護事業</p>